

### 行政評価外部評価委員会が報告書提出

11月29日、行政評価外部評価委員会が評価結果の報告書を肥後市長に提出しました。同委員会はこれまで24年度の10事業の内容を聞き取り、評価を実施。山之口志朗委員長は「新年度予算や事業内容の見直しに反映してほしい」と話していました。



### ガネコン決勝で「カタロウ会」が優勝

12月1日、郷土料理「がね」の味を競う「G1グランプリ環霧島決勝大会」が、小林駅南広場で開催されました。環霧島地域の各市町の予選を勝ち抜いた7チームが出場。試食者の投票の結果、本市の「市民団体カタロウ会」がグランプリを獲得しました。



### 年末年始のパトロール強化始まる

12月3日、年末年始のパトロールを強化する特別警戒取締隊「ひなもり隊」の発隊式が小林警察署でありました。野辺学署長は「警察と地域が一体となって犯罪や事故の未然防止に務めたい」とあいさつ。式後、パトカー、白パイや青パトなど15台で管内をパトロールしました。



### 餅つきで「親父の技術」学ぶ

12月7日、三松小学校で餅つき体験が行われました。三松小PTA「おやじ学級」が主催する毎年恒例の行事で、餅米は児童らが自分たちで植え、収穫したものを使用。餅つきを体験した後は、つきたての餅を、焼いたり、雑煮にするなどして味わいました。



### 35人が新たに民児委員に 種子田與市さんに特別感謝状

12月2日、第5回民生委員児童委員協議会総会が天守閣で行われました。今年委員が一斉改選され、36人が退任。新任35人を含む121人に委嘱状が交付されました。前会長の種子田與市さんも退任し、「地域の安定、福祉のためこれからも活動してほしい」とあいさつしました。



特別感謝状を受け取る種子田さん。委員を42年、うち会長を18年務め長年にわたり地域福祉に尽力されました

### 財産権利を守る成年後見制度 実話を基にした講談で学ぶ

12月3日、成年後見制度啓発シンポジウムが文化会館で行われました。この制度は、判断能力が十分でない人の権利を守る援助者を選び、契約や財産管理などを法的に支援する制度。講演には、講談師神田織音さんが登壇し、実話を基にした講談で笑いを交えながら説明していました。



神田さんは、「高齢化が進む今の日本にとって、成年後見制度は知っておくべき制度」と強く訴えていました



秀峰高校3年の皆越大貴さんは「今回が最後の演技会。最高の演技ができて良かった」と話していました

### 華麗な演技で観客を魅了 市内外10団体が新体操披露

11月30日、市民体育館で新体操演技会が開催されました。全国レベルの華麗な演技を生で見ようと、市内外から約2,000人が来場。選手たちの息の合った団体演技のほか、個人競技のスティック、リング、ロープやクラブを使った技が決まるたびに、大きな拍手と歓声が送られていました。



大根の収穫体験。収穫した大根で、粗くおろした大根とイワシを酢としょうゆで味付けして煮込む郷土料理「酢の汁」を作りました

### 大根の収穫と酢の汁づくり 西小林で「でこん」引き体験

12月1日、西小林的おやまかおるの畑で「でこん」引き体験が行われました。にっこばまちづくり協議会と西小林小PTA「やちみろ会」が主催し、地元の子どもや大人約60人が参加。子どもたちは収穫体験、大根干しの作業見学や、大根を使った郷土料理「酢の汁」づくりに挑戦しました。

### 男女共同参画社会に貢献 加藤シゲ子さんに功労賞

11月20日、男女共同参画社会づくりに貢献のあった県民をたたえる平成25年度「男女共同参画功労賞」表彰式が県庁知事室であり、小林市から加藤シゲ子さんが受賞しました。加藤さんは「身が引き締まる思い。今後は若い人たちの活動をサポートしていきたい」と喜びを語りました。



表彰式で河野知事と。加藤さんは、長年にわたり女性農業者の地位向上などに尽力。現在も女性消防団など多方面で活躍中です

### 起伏に富んだコースで競う 第1回クロスカントリー大会

12月1日、総合運動公園クロスカントリーコースで、第1回クロスカントリーリレー大会が開催されました。陸上競技場をスタート・ゴールとした個人、リレーの4競技があり、市内外の小中学生34チーム210人が参加。選手たちは起伏や変化に富んだコースでタイムを競い合いました。



クロスカントリーコースは今年8月4日に完成。テニスコート周辺に整備された全長630m、高低差7mのコースです

### 子ども司書に児童 15 人を認定

12月7日、「子ども司書養成講座」の閉講式が市立図書館で行われました。全10回の講座を通し、司書学を学んだ15人の児童に認定証を授与。幸ヶ丘小5年の本部壮竜さんは「学校で、おすすめの本の紹介や下級生への読み聞かせをしていきたい」と話していました。



ほんぶそうき

### 文化財探訪で江戸時代の石像を巡る

12月11日、市ガイドボランティア協会主催の文化財探訪がありました。約30人が参加し、市内4カ所にある江戸時代の石像を見学。参加した巣山和子さんは、「身近にあるが、初めて知ることばかり。これからもっと詳しくなりたい」と興味を深めていました。



すやまかずこ

### 小林ハンド九州大会出場を決める

12月11日、小林ハンドボールスポーツ少年団が市長を訪問し九州大会出場を報告しました。同大会は12月21日から23日にかけて福岡市で開催。真方駿主将は「上位を目指し、チームで一つになって楽しくプレーしたい」と抱負を語りました。



まがたしゅん

### 三松小女子ハンド九州でリベンジ誓う

12月12日、三松小ハンドボールスポーツ少年団が市長に九州大会出場を報告しました。8月に開催された全国大会では、熊本県の玉名町小に敗れ準優勝。谷口佳帆主将は、「優勝を目指して全力で戦います」と全国大会のリベンジを誓いました。



たにぐち かほ

### 病気の妹たちとの生活つづる 西元優莉愛さんの作文優秀賞

12月11日、第33回全国中学生人権作文コンテスト県大会の表彰式が、県庁講堂で開催され、永久津中学校3年西元優莉愛さんの「皆おなじ地球の仲間」が優秀賞を受賞しました。西元さんは「妹二人はなくてはならない存在。人間として大切なことを教えてくれます」と話していました。



西元さんの将来の夢は理学療法士。「妹たちから、どんなに難しいことでもやればできる!ということ学んだ」と笑顔を見せていました

### 性同一性障がいの理解深めて 石川さん親子が講演

12月14日、人権啓発と男女共同参画を推進するイベント「こころとこころがつながれば…」が文化会館で開催されました。イベントは2部構成で、ミニコンサートと講演を実施。講師の石川直子さんは、性同一性障がいのある高校生宗さんとの日々を告白し、この障がいへの理解を訴えました。



NPO法人「性同一性障害ありあの会」の石川直子さんと宗さん。性同一性障がいを社会で正しく認知してもらうため活動を続けています



株式会社四万十ドラマは、古新聞やヒノキの端材を再利用した「新聞バッグ」や「ひのき風呂」など数多くのヒット商品を生み出しています

### 「地域の強みをみつけて」 6次産業化を推進する講演会

12月5日、6次産業化を推進する講演会がジェイズカントリークラブ小林で開催されました。農業従事者など約100人が参加。講師の株式会社四万十ドラマ代表取締役の畦地履正さんは、地元産にこだわる取り組みを紹介し「まずは1次産業をしっかりした上で2次、3次産業に取り組んでほしい」と呼びかけました。



野尻原開田物語は、野尻原に遠く小林から水を引く大事業を構想し、実現させた田丸貞重翁の生涯を描いたものです

### 会場が笑顔と感動に包まれる 大笑い一座の公演会開催

12月8日、「大笑い一座」の第2回公演会が、野尻町農村環境改善センターで行われました。市内外から約370人が来場し、会場は満席。講演は2部構成で、第1部ではコント、踊りや一休さんの劇など、第2部では野尻原開田物語の劇が行われ、会場は笑い感動に包まれていました。

### 3年間の集大成を披露 西高調理科3年生が成果発表

12月4日、小林西高調理科3年生の学習成果発表会と試食会が、同校体育館でありました。生徒代表の米満就平さんが「皆さんに喜んでもらうため、心を込めて作りました」とあいさつ。会場には43作品が並び、各テーブルで生徒が保護者などに説明をしながら料理を振る舞っていました。



生徒たちは「旬の料理で笑顔を」や「満意恩恵」など、それぞれのテーマを決め個性溢れる料理を作っていました

### 全国体力づくりコンテストで 永久津中学校が優良賞

12月7日、第27回毎日カップ中学校体力づくりコンテストの表彰式が、毎日新聞東京本社で開催され、永久津中学校が優良賞を受賞しました。永久津中では、授業前のストレッチ体操や、放課後に体力トレーニングなどを実施。生徒の自主的な取り組みや基礎体力の向上が評価されました。



「受賞は生徒たちにとって大きな励みになった。今後も充実していきたい」と富田良久校長。須木中、野尻中も努力賞を受賞しました